

第2節 資料館における社会教育活動

1. 山口県立山口博物館との連携事業『講座 古代ウォーク』

平成27(2016)年6月24日に山口博物館と連携協力協定を締結して以降、毎年継続して実施している事業が『講座 古代ウォーク』である。これは、山口県内を県央部、東部、北部、西部の4ブロックに分け、順次見学地域を設定し、出土資料を観覧し、実際に遺跡地をめぐるという内容である。その際に重視している点は、当該自治体と連携しながら、未公開の資料も含め出土資料を確認すること、周辺地形と遺跡の立地を確認するため、できる限り遺跡地まで歩いて行くことなどである。

令和3年度は5年ぶりに県東部を対象とすることが決定しており、山口博物館との協議により、小地域として平生町を選定した。平生町は重要な遺跡が多く分布しており、戦前に県考古学研究の先導的役割を担った弘津史文氏が私設博物館を設けるなど、博物館学的視点からも重要視される地域である。

開催にあたり、事業に共催いただいた平生町教育委員会の協力のもと、3月9日(火)、6月1日(火)、10月10日(日)にコース設定・確認のため視察を行い、11月3日(水・祝)に開催することとなった。新型コロナウイルス禍中であることから、募集定員は最大10組20名としたが、20組27名もの方々から応募があり、抽選の結果10組16名を迎えて開催する運びとなった。当日のスケジュールは以下の通りである。

9時30分～10時00分 平生町立平生図書館研修室にて受付

10時00分 平生町歴史民俗資料館にて各遺跡出土遺物の見学と解説(写真16)

平生町教育委員会と白鳥神社保存会のご厚意により、白鳥古墳出土品(二神二獣鏡や巴形銅器など)の実見

11時45分 バスにより平生町佐賀地域交流センターに移動・昼食

12時25分 岩田遺跡見学と解説(写真17)

12時45分 白鳥古墳見学と解説(写真18)

13時45分 神花山古墳見学と解説(写真19)

14時05分 阿多田交流館にて休憩・見学

14時25分 阿多田古墳遠望・解説(写真20)

15時20分 神出古墳群見学・解説(写真21)

15時35分 中村廃寺・中土井遺跡遠望・解説

16時15分 平生町歴史民俗資料館駐車場に到着・アンケート記入・解散

全長約11kmに及ぶ徒歩コースで、特に白鳥古墳から神花山古墳までの約3km区間、阿多田交流館から神出古墳群までの約3.5km区間は、コース上に他に明確な遺跡の分布がなかったことから、古墳時代の海上交通や、かつて存在したとされる古柳井水道の姿を想像しながら雑談も交え歩き続けた。道中、参加者から地元ならではの地域情報を聞くことができ、教えられることも多くあった。

参加者からは「平生町に住んで70年ですが、知らないことが多くあり、改めて沢山の興味ある勉強ができました。楽しい一日でした。平生の地に誇りをもちます」「柳井茶臼山古墳に行った時に、平生の古墳のことを聞き、行きたいと思っていたので参加しました。一人ではなかなか行けない古墳についての話もありがとうございました」といった声が寄せられる一方で、「事前に歩く距離を知りたかった(トレーニングしておくので)」「小規模でも頻度の増を希望」などの要望も寄せられた。

今回は初の午前～午後開催であったが、これまで以上に充実した講座となったのは、平生町教育委員会諸氏の全面的な協力によるところが大きい。末筆ではあるが記して感謝の意を表したい。



写真 16 平生町歴史民俗資料館での資料解説



写真 17 岩田遺跡解説



写真 18 白鳥古墳見学・解説



写真 19 神花山古墳へ



写真 20 阿多田古墳遠望・解説



写真 21 神出古墳群見学・解説